

2026 年 7 月 27 日

オスフェリオンバイオマテリアル株式会社
株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

オスフェリオンバイオマテリアルとジャパン・ティッシュエンジニアリング 再生医療と骨切り術を組み合わせた膝関節温存治療に向け業務提携

オスフェリオンバイオマテリアル株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：石川 学、以下、OSB）と、株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（本社：愛知県蒲郡市、社長：山田 一登、以下、J-TEC）は、変形性膝関節症に対して、再生医療と骨切り術を組み合わせた治療選択肢を普及するため、販売に関する業務提携の契約を締結しました。両社は、2026 年 8 月より相互の製品展開や共同プロモーションを開始します。

1. 背景・経緯

- 変形性膝関節症は、膝関節の O 脚変形などによって負荷が一部分に集中し、膝の軟骨がすり減ることで、痛みや運動機能の低下を引き起こす疾患です。国内有病者数は約 2,530 万人¹に上ると推定されています。保存治療で痛みの引かない変形性膝関節症に対する外科的な治療には、人工関節置換術や骨切り術²などが行われています。このうち、患者さんご自身の膝関節を温存する治療法として、膝関節の変形を矯正して膝にかかる負担を軽減する骨切り術が広く選択されています。
- 骨切り術は、膝関節の環境を改善する有効な治療法ですが、軟骨欠損を伴う症例においては、膝関節にかかる負荷軽減に加えて、軟骨そのものへのアプローチを組み合わせた包括的な治療が求められています。こうした治療の組み合わせにより、患者さんご自身の膝関節を温存することで、QOL の向上やスポーツへの復帰など、活動的な生活を取り戻すことが期待されています。
- このような背景に対し、骨切り術の医療機材を展開する OSB と自家培養軟骨「ジャック」を展開する J-TEC は、骨切り術と再生医療を組み合わせた膝関節温存治療を医療現場に提供するために業務提携を決定しました。

2. OSB と J-TEC が展開する製品について

- OSB は、膝周囲骨切り術の手術機材の研究開発・製造・販売を行っている医療機器メーカーです。特に、主力製品である吸収置換型セラミックス人工骨「オスフェリオン」および膝周囲骨切り術用金属インプラント「TriS（トリス）」を展開しています。
- J-TEC は、患者さんの正常な膝の軟骨細胞を培養して製造する自家培養軟骨「ジャック」を展開しています。「ジャック」は、膝軟骨のすり減りや欠損に対する治療を目的としており、2026 年 1 月に変形性膝関節症への保険適用が認められました。

¹ 自覚症状がある患者は 1000 万人に上ると推定される。

吉村典子：わが国における変形性関節症の疫学～大規模住民コホート研究 ROAD より～, Clinical Calcium 21(6):821-825, 2011

² 変形した骨を切って角度を矯正し、荷重バランスを変えることで痛みを和らげる外科手術で、患者自身の関節を残すことができる。

3. 業務提携の概要

- 販売体制の構築と相互サポート

OSB は「ジャック」の非独占的代理店として、自社の販路を活かした営業活動を行います。また、J-TEC は OSB に対して「ジャック」の納品に至る実務をサポートするとともに、自社の対象医療機関へ OSB 製品を積極的に紹介し、両社で相互の販売拡大を目指します。

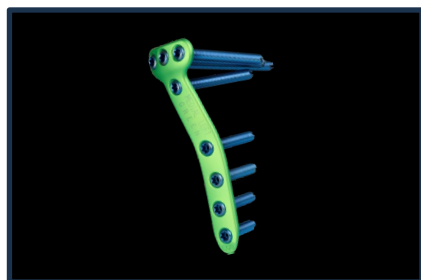
- 共同プロモーションの展開

OSB が共催する膝骨切り術に関する研究会への共同参画をはじめ、関連学会での共同展示、医療従事者向けの手技トレーニングの共同実施など多角的なプロモーションを展開します。

4. 今後の展開

本件に関する共同事業は、2026 年 8 月より本格的に稼働する予定です。本提携を通じた販売網の強化と治療選択肢の提供により、変形性膝関節症に対する膝関節温存治療の確立を目指します。

OSB は「Return to Active Life～再び『自由に動ける喜び』を！～」の実現を追求します。J-TEC は「再生医療をあたりまえの医療に」の実現を目指し、「ジャック」の年間 1,000 例の治療提供を目標に掲げます。



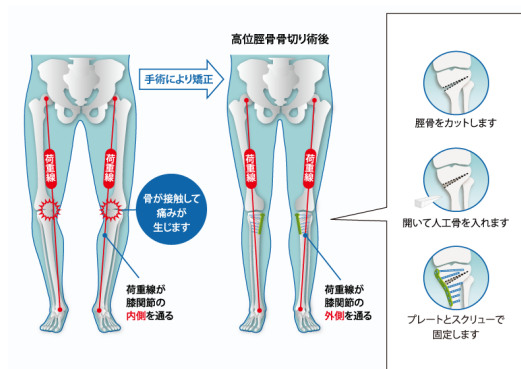
膝周囲骨切り術用金属インプラント
「TriS (トリス)」



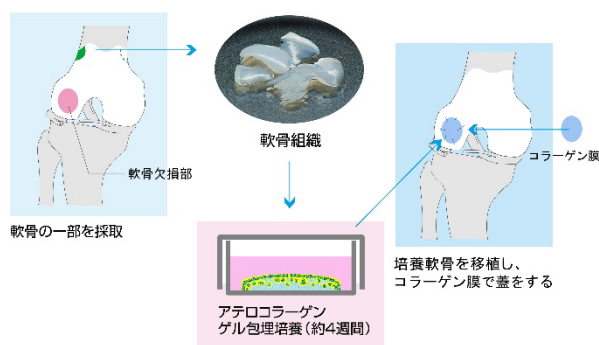
吸収置換型セラミックス人工骨
「オスフェリオン」



自家培養軟骨「ジャック」



膝周囲骨切り術の流れ



自家培養軟骨「ジャック」の治療の流れ

【OSB 代表取締役社長 石川学のコメント】

私たちは、「身体機能を温存・再建することで、『カラダの支え』そのものとなる」というビジョンを掲げています。その実現に向けては、骨の変形を矯正する骨切り術のみならず、損傷した軟骨そのものの再生を目指す J-TEC 社の高度な再生医療技術との連携が不可欠であると考え、このたびの提携に至りました。

私たちは骨の変形を整え、J-TEC 社は軟骨の再生を担うことで、それぞれの強みを融合し、膝関節温存治療の新たな価値を創出してまいります。そして一人でも多くの患者さんに『再び自由に動ける喜び』をお届けできるよう取り組んでまいります。

【 J-TEC 代表取締役 社長執行役員 山田一登 のコメント 】

2026 年 1 月に自家培養軟骨「ジャック」が変形性膝関節症へ保険適用されて以来、多くの患者さんから大きな期待を寄せていただいております。本治療を速やかに全国の医療機関および患者さんへご提供するためには、膝関節領域において確固たる信頼を築いているパートナーとの業務提携が不可欠であると判断いたしました。「Return to Active Life～再び『自由に動ける喜び』を！～」のミッションのもと、着実な事業展開を行う OSB 社との本提携を通じ、変形性膝関節症における膝関節温存治療の普及を強力に推進してまいります。

〈オスフェリオンバイオマテリアル株式会社について〉

オスフェリオンバイオマテリアル株式会社（OSB）は、「Return to Active Life ～ 再び『自由に動ける喜び』を！」～をミッションに掲げ、人工骨などの生体材料や金属インプラントおよびこれらに関連した治療支援システムの研究開発、ならびに製造販売を行う医療機器メーカーであり、OrthoActiVolution Holdings 株式会社の 100%子会社です。特に膝周囲骨切り術の手術機材においてマーケットリーダーであり、患者さんの骨形態に適合した様々な形状の製品を研究・開発するとともに、安全で有効な手術を行ってもらえるように、教育プログラムの提供を医療従事者の皆様と企画運営したり、各地域における研究会やセミナーなどの活動にも力を入れております。

〈株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリングについて〉

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（J-TEC）は、「再生医療をあたりまえの医療に」をビジョンに掲げる再生医療メーカーであり、2021 年 3 月から帝人グループの一員です。日本の再生医療のトップランナーとして、2007 年 10 月に日本で初めて国の承認を得た、自家培養表皮「ジェイス」をはじめとする、表皮や膝の軟骨、角膜上皮など計 5 品目の再生医療等製品を上市しています。

以上

【 OSB の製品に関するお問合せ先 】

オスフェリオンバイオマテリアル株式会社 事業企画部

E-mail : OTB-SEC-BPRM@biomaterial.co.jp TEL : 03-5738-3410

【 J-TEC の製品に関するお問合せ先 】

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング 経営管理部

E-mail : jtec-info@jpte.co.jp TEL : (0533)66-2020